飯舘村中学生夏休みオーストラリア研修旅行「Let's Australia!」

8／2～8／10

▲西オーストラリア州議事堂で。後列中央がオーストラリア農業食糧林野大臣テリーレッドマンさん

オーストラリア

中学生向けの研修事業は、オーストラリアでも行われました。この事業は村教育委員会主催、豪日交流基金、オーストラリアの被災者支援組織であるMATEROCK（メイトロック）、オーストラリア・ニュージーランド商工会議所の後援で行われ、飯舘中学校1年生から3年生までの14人と転校した2人の中学生の16人が参加しました。

日本を出発した翌日に西オーストラリアにあるパースに到着。今回コーディネーターとして同行したMLA豪州食肉家畜生産者事業団駐日代表のメラニー・ブロックさんの実家でホームパーティーの歓迎を受けた後、西オーストラリア州議事堂で、オーストラリア農業食糧林野大臣テリーレッドマンさんを表敬訪問しました。

オーストラリアでの2日目はパースから南東に400㎞のアルバニーに移動。途中、ウールヤード博物館で羊毛についての話を聞きました。

3日目はトーンディラップ国立公園で、ナチュラル・ブリッジやザ・ギャップなどの奇岩を見学した後、海でホエールウォッチングを楽しみました。この日の夜から2日間、中学生たちは現地のホストファミリーの家にホームステイです。

4日目は、現地にあるグレート・サザン・グラマースクールという学校で英語研修や現地の生徒と一緒の授業を受けました。当然、全て会話は英語です。

5日目は、およそ500頭の牛が飼育されるブラックウッド・バレー牧場を見学し、バーベキューの後パースに移動。続く6日目は、水族館を楽しんだ後、オージービーフの料理レッスンを受けました。最終日には、動物園でコアラやカンガルーと触れ合い、オーストラリアでの全日程を終了しました。

オーストラリアの雄大な自然に出会い、現地のホストファミリーの温かな歓迎を受けた参加者たちは、「ホームステイ先では辞書を引いたり身振り手振りでコミュニケーションが取れた。楽しみにしていたオージービーフがおいしかった」「グラマースクールでの交流会がとても楽しかったし、優しくしてもらったのが一番の思い出」と感想を話していました。

東日本大震災により困難な避難生活を続けながら毎日を送る子どもたちは、今回の研修事業で全国や海外の方の温かい支援により、たくさんのことを学び、感じ取ることができました。

▲同行したメラニーさんの実家で歓迎のモーニングパーティー

▶毛刈りされたばかりの羊毛。これからいろいろな衣類が作られるなんてびっくり！

◀ホエールウォッチングではボートの操縦も体験させてもらいました

▲トーンディラップ国立公園の絶景ではオーストラリアの自然に圧倒されました

▲グレート・サザン・グラマースクールの生徒と地球儀でお互いの国の位置を確認！

▲同スクールで一緒に授業を受けました

▶ブラックウッド・バレー牧場の牛たちと一緒に

▶オージービーフの料理レッスンでミートパイを作りました

▲たくさんのカンガルーと触れ合えました